

障がいのある方と学生との交流事業「花壇プロジェクト」のオープニングセレモニーが行われました

障がいのある方との交流事業「花壇プロジェクト」のオープニングセレモニーが行われました

京都ノートルダム女子大学(学長・藪内稔)と社会福祉法人京都総合福祉協会・北山ふれあいセンター生活介護事業所コスモス(所長・上田昌央)は、平成22年11月8日(月)午前11時30分から、京都ノートルダム女子大学中庭において、障がいのある方との交流事業「花壇プロジェクト」のオープニングセレモニーを実施し、同事業に関する「覚書」を交換いたしました。

「北山ふれあいセンター」にある生活介護事業所「コスモス」は、どんなに重い障がいのある方に対しても、その方の役割や生きがいなどを大切にしていけることを目的に事業を展開していますが、その具体的な活動先が十分なく、障がいのある方の活動場所を求めていました。一方、京都ノートルダム女子大学では、建学の精神である「徳と知」の教育を進める中で、学生によるボランティア活動も積極的に推進しています。そうした双方のニーズを叶える事業のひとつとして、交流事業「花壇プロジェクト」を開始するものです。

具体的には、平日の昼間に、コスモスの利用者は、担当している花壇の水やりや植え替えなどを行います。それを学生のボランティアが積極的に支援をします。その中で、利用者との交流を図り、利用者にとっても、学生にとっても実りのあるプロジェクトとなるように計画しており、この取り組みを足がかりにさらさまざまな交流を図っていきたく考えています。

